

日本広告学会
第49回全国大会ご案内
[大会プログラム・大会参加申し込み方法]

大会統一論題

地域といきる

ー広告は過疎に勝てるのかー

日本広告学会 第49回全国大会

名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり

2018年10月12日(金)～14日(日)

大会運営委員会事務局：名古屋学院大学 商学部 岡本純研究室内

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号

電話：052-678-4080 (名古屋キャンパス代表) FAX：052-682-6811

jaa2018nagoyagakuin@gmail.com

ご挨拶

この度、2018年10月12日(金)から14日(日)までの3日間の日程で、日本広告学会第49回全国大会を名古屋学院大学「名古屋キャンパスしろとり」において開催いたします。

今回のテーマは、名古屋で開催されることもあり、地方の抱える課題を考えたいとの思いから「地域といきる-広告は過疎に勝てるのか-」を掲げています。情報技術の進展と過疎化という二面性は、地方の広告会社やクリエイターのビジネスに顕著な課題だといえます。このような点から地域の広告やコミュニケーションのあり方を基調講演、パネルディスカッション、そして、会員の研究報告から考えていきたいと思っています。

今回の会場である「名古屋キャンパスしろとり」は名古屋駅からのアクセスも良く、近隣に熱田神宮、名古屋国際会議場などもあります。多くの会員のみなさまのご参加を運営委員一同、お待ちしております。

今回も全国大会を開催するにあたり、公益財団法人吉田秀雄記念事業財団、公益社団法人日本アドバタイザーズ協会にご支援賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

日本広告学会 第49回(2018年度)全国大会
大会運営委員長 岡本 純
(名古屋学院大学商学部)

1. 大会統一論題(大会テーマ)

地域といきる-広告は過疎に勝てるのか-

2. 日程 2018年10月12日(金)~10月14日(日)

12日(金) 午後:各種委員会・理事会

13日(土) 午前:基調講演①・②

午後:基調講演③、パネルディスカッション、会員総会、懇親会

14日(日) 午前:自由論題報告、国際学会参加報告 午後:自由論題報告

※名古屋においても最近では外国人観光客が増加するなどの理由から、宿泊予約が取りづらい状況にありますので、早めの申し込みと宿泊の手配をお願いいたします。

3. 会場

名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり ^{のぞみ} 希館・^{つばさ} 翼館

※会場・受付は12日(金)と14日(日)は希館、13日(土)は翼館ですので、ご注意くださいようお願いいたします。

4. 基調講演・パネルディスカッション

基調講演

地方の魅力を車で訪ねる。新しいラグジュアリーを紐解く。

レクサスマガジン BEYOND : レクサスと共に地方と生きる。

講演者 ^{かわべ} 河辺 ^{てつや} 徹也 氏(レクサスインターナショナル)

2003年より2008年までイタリアトヨタ社の社長補佐として会社経営全般、特にマーケティングに係わる。2012年よりラグジュアリーブランド「レクサス」のリブランディング活動をブランドマネジャーとして担当。南青山にレクサスのブランド体験スペース「インターセクトバイレクサス」、若手デザイナーの育成「レクサスデザインアワード」、若手映画監督の育成「レクサスショートフィルム」など設立に関わり新しいブランディングをリード。2014年にはマサチューセッツ工科大学メディアラボで石井副所長とトークなど内外で講演実績あり。

地方で生きる中小企業のプロモーション戦略 海外専門旅行会社 JSTの場合

にし ともひこ
講演者 西 智彦 氏 (株式会社ジェイエスティ)

1979年、海外専門旅行会社「株式会社ジャパスタディーツアーズ」(現：株式会社ジェイエスティ / JST)を設立、代表取締役社長に就任し、現在に至る。「世界で一番お客様と親しい旅行会社」を目指し、「お客様は恋人」「旅のホームドクター」「楽しくなければ会社じゃない、楽しくなければ仕事じゃない」を实践、リピーターおよび紹介客で売上80%を実現。「思いは必ず叶う・・・諦めなければ」で、数々の奇跡(ミラクル)を呼び込んでいく。超ポジティブ思考の経営者。著書に「奇跡を呼び込む力」(PHP研究所)がある。

リニア時代の東海創生と広告を考える

かとう よしと
講演者 加藤 義人 氏 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

岐阜市出身。東京理科大学理工学部土木工学専攻科修了。昭和62年(株)野村総合研究所入社。平成7年(株)東海総合研究所に移籍。その後合併を経て現職。社会資本の経済効果分析、PPP/PFI、公共経営等の分野に従事し、主として公共事業と経済・金融・経営が交わる領域を専門に受託調査・コンサルティングや提言活動を行っている。愛知県行財政改革有識者公開ヒアリング座長、名古屋市交通局有識者懇談会等の各種委員会活動にも積極的に参画。岐阜大学客員教授。

パネルディスカッション 「地域といきるー広告は過疎に勝てるのかー」

パネリスト

あんどう ますみ
安藤 真澄 氏 (株式会社電通)

京都大学文学部哲学科卒。(株)電通入社後、企画開発部門、海外事業部門、マーケティング部門を歩む。米国留学後、1990年に電通モスクワ事務所(日本の広告会社初)を立ち上げ、初代駐在。駐在中にソ連邦崩壊を体験。帰国後は電通海外拠点の経営管理・営業開発、地域事業企画、ブランド・コンサルティング等を担当。電通との兼職として名古屋大学大学院招へい教員(2010~15年)、南山大学大学院教授(2015~18年)を務める。日本広告学会理事。中部マーケティング協会等、講演多数。世界デザイン博覧会(1989年)、2005年日本国際博覧会の企画にも携わっている。

かわしま のぶこ
河島 伸子 氏 (同志社大学)

東京大学教養学部卒業。(株)電通総研、英国ウォーリック大学文化政策研究センターリサーチフェローを経て、1999年より同志社大学経済学部にて文化経済学、文化政策論等を教える。PhD in Cultural Policy。文化経済学会<日本>会長(2014-2016年)、日本文化政策学会理事他。著書に『コンテンツ産業論』(2009年、ミネルヴァ書房)、Cultural Flows in Asia (H-K Lee と共編著、Springer、近刊)など。広告学関係では広告表現の創造性に影響する経済・組織基盤などに関心を持つ。文化庁・文化審議会文化政策部会部会長、著作権分科会委員、東京大学政策ビジョン研究センター客員教授等を務める。

もりした たく
森下 卓 氏 (公益社団法人日本将棋連盟)

78年6級でプロ棋士養成機関・奨励会に入会。83年四段プロ棋士となる。90年第57期「棋聖戦」でタイトル初挑戦。以後竜王戦、名人戦、棋王戦など6回タイトル戦に挑戦。またトッププロの登竜門といわれる90年第21回新人王戦を優勝。その後全日本プロトーナメント、JT将棋日本シリーズなど8回の棋戦優勝を誇る。第18回(1990年度)勝率第一位賞・最多勝利賞・最多対局賞・殊勲賞を受賞。通算成績は1553局914勝638敗勝率0.589(2018年9月1日現在)。自ら考え出した駒組「森下システム」を確立し、プロアマ問わず広く活用されている。著書NHK出版「森下卓の矢倉をマスター」、毎日コミュニケーションズ「森下の矢倉」他多数。2003年九段。2017年5月~日本将棋連盟常務理事を務める。

加藤 義人 氏 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

いざわ ともかず
解題・進行 井澤 知旦 氏 (名古屋学院大学)

1978年名古屋工業大学大学院工学研究科修士課程を修了後、民間シンクタンクへ就職、1990年に自ら都市計画系コンサルタントを設立し、代表取締役に就任。地域開発や都市開発、農業振興や観光振興などの構想・計画づくりを担当し、東海地方のまちづくりを支援。2004年三重大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。2012年より名古屋学院大学経済学部教授、2015年より現代社会学部教授。2017年4月より同学部長に就任。著書に『シリーズ都市再生① 成長主義を超えて大都市はいま』(分担)、『公共空間の活用と賑わいまちづくり』(分担)など多数。

※パネリストは五十音順で記載しております。

5. 大会プログラム

【1日目:10/12(金)】

受付 13:00～:希館 4階

	希館 4階	希館 2階		
	405教室	スチューデントルーム2	スチューデントルーム3	スチューデントルーム1
14:00 ~ 16:00	各種委員会	各種委員会	学会賞委員会	休憩室
16:00 ~ 18:00	理事会			

【2日目:10/13(土)】

受付 9:30～:翼館 4階 エレベーターホール 休憩室・昼食会場:翼館 3階 301教室

	翼館 4階 クラインホール
10:00 ~ 10:05	開会挨拶 岡本 純 (第49回全国大会運営委員長/名古屋学院大学)
10:05 ~ 10:15	会長挨拶 日本広告学会 会長 嶋村和恵 (早稲田大学)
	休憩
10:30 ~ 11:25	基調講演① 地方の魅力を車で訪ねる。新しいラグジュアリーを紐解く。レクサスマガジンBEYOND:レクサスと共に地方と生きる。 河辺徹也氏 (レクサスインターナショナル)
11:30 ~ 12:25	基調講演② 地方で生きる中小企業のプロモーション戦略 海外専門旅行会社 JSTの場合 西 智彦氏 (株式会社ジェイエスティ)
12:25 ~ 13:40	昼食
13:40 ~ 14:35	基調講演③ リニア時代の東海創生と広告を考える 加藤義人氏 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
14:50 ~ 16:45	パネルディスカッション パネリスト 安藤真澄氏 (株式会社電通)/河島伸子氏 (同志社大学)/ 森下 卓氏 (日本将棋連盟)/加藤義人氏 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング) コーディネーター 井澤知旦氏 (名古屋学院大学)
	休憩
16:50 ~ 18:10	会員総会
	休憩
18:20 ~ 20:20	懇親会 (曙館 1階 食堂)

【3日目:10/14(日)】

受付 9:30～:希館 2階 エレベーターホール 休憩室・昼食会場:希館 2階 201教室

希館 4階					
403教室		404教室		405教室	
自由論題報告					
司会:井上一郎		司会:川村洋次		司会:山崎方義	
10:00 ~ 10:30	レゴランド・ジャパンの現状と展望 新井亨(愛知淑徳大学)	消費者金融会社の情報発信-ホームページの内容を考える- 加藤里美(愛知工業大学)	環境広告のビジュアル表現に関する研究-計量テキスト分析による試み-	劉顔彦(名古屋大学大学院)	
10:30 ~ 11:00	訪日中国人観光客のプロモーション戦略に関する一考察 柯麗華(静岡産業大学)	電車内における情報行動と車内広告の効果-アンケート調査結果からの検討- 天野美穂子(東京家政大学) 橋元良明(東京大学)	環境変化に対する課題意識と広告の目的から見た企業の広告活動の類型化への試み~広告宣伝費上位企業243社に対する調査結果から	坂井直樹(日経広告研究所)	
11:00 ~ 11:30	共創参画プロモーションにおけるプロモーション効果評価に向けて 河井孝仁(東海大学)	「もの」としての広告と「こと」としての広告-「広告する」ことの根源的なパワーの確認- 水野由多加(関西大学)	GSR広告の標準化と現地化について	広瀬盛一(東京富士大学)	
希館 2階 201教室					
国際学会参加報告 峯尾圭(早稲田大学) 村尾俊一(戦略プランニング研究所) 劉玉婷(早稲田大学大学院)					
昼食					
自由論題報告					
司会:喜早冬比古		司会:嶋村和恵		司会:坂井直樹	
13:30 ~ 14:00	「名古屋CM」への意識調査から考察した地域CM再定義 庫元正博(金城学院大学)	広告視聴デバイスから得られる情報に対するオーディエンスの意識-テレビとスマートフォンの比較 石崎徹(専修大学)	視覚障害者に資する、「手で触ってわかるユニバーサルシンボルマーク」の開発・制作。	安田輝男(筑波技術大学)	
14:00 ~ 14:30	地域がいきるブランド戦略 村松幸廣(愛知大学)	物語広告の新潮流~ブランドドムムービーとメタフィクション 木原勝也(広告文化研究所)	新聞記事によって生じられる重要性がエコプロダクト広告に及ぼす影響	奥村孝(筑波大学大学院) 西尾チヅル(筑波大学)	
司会:水野由多加		司会:石崎徹		司会:松隈久昭	
14:30 ~ 15:00	テレビ視聴における地域性と広告への活用 山津貴之(インテージ) 中野暁(インテージ) 李相吉(インテージ)	SNSによるエンゲージメント醸成を目的とした新聞広告活用の考察 倉内佳郎(中日新聞社) 藤崎実(東京工科大学)	オケーション認知によるメディア別の広告効果測定-新しい広告効果指標の応用可能性-	武谷慧悟(駒澤大学) 畠山仁友(立正大学) 緒方敦(ジェイアール東日本企画) 久保田進彦(青山学院大学)	
15:00 ~ 15:30	公式アカウントの情報発信により形成されるエンゲージメントについての分析と考察(事例:2017年衆議院選挙時の立憲民主党の公式アカウントの情報発信) 谷口光子(日本大学)	広告主と広告会社との取引に関する実態調査~デジタルメディアの取引を中心に~ 小泉秀昭(立命館大学)	行動ログデータを用いたテレビ/デジタルの来店効果	上原拓真(電通)	
休憩					
希館 2階 201教室					
閉会挨拶 日本広告学会 副会長 石崎徹(専修大学)					
15:35 ~ 15:45					

6. 参加申し込み方法

(1) 正会員・名誉会員のお申し込み

この通信に同封されている「払込取扱票」を用いて、「大会参加費等」をご参照の上、該当する参加費等を払い込んでください。その際、「払込取扱票」の通信欄に明細をご記入ください。参加費の払い込みをもって参加登録の手続完了といたします。

なお、10月4日(木)までに払い込みいただく場合と10月5日(金)以降に払い込みいただく場合で、参加費が異なりますのでご注意ください。

また、大学院生(博士前期課程、修士課程、博士後期課程、社会人大学院生を含む)の正会員は、参加費が割引になります。当日、必ず学生証を持参してください。

(2) 賛助会員のお申し込み

ご担当者は別紙「参加者名簿」に必要な事項を記入し、大会運営委員会事務局までメールまたはFAXでご提出ください。詳しくは別紙「【賛助会員用】全国大会参加申し込み方法のご案内」をご覧ください。「参加者名簿」のWordファイルが必要な方は、大会運営委員会事務局までお問い合わせください。

※ **賛助会員社にご所属の個人会員は、賛助会員の無料枠の適用はできません。個々に正会員・名誉会員としてお申し込みください。**

(3) 非会員のお申し込み

大会運営委員会事務局までメールでご連絡ください。なお、非会員の参加費には事前割引が適用されません。学部生、会員家族は無料でご参加いただけますが、資料は有料です。

(4) 会費について

お振込いただいた会費につきましては、いかなる理由であっても返金はいたしかねます。あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

(5) 昼食について

13日(土)および14日(日)分の昼食は、10月4日(木)までにお申し込みいただければ、お弁当をご用意いたします(1食1,000円)。必要な方は、払込票にて大会参加費と併せて払い込みください。なお、大学食堂、学内のコンビニエンスストアは終日営業していません。また、大学周辺の飲食店、コンビニエンスストアは徒歩10分程度掛かりますので、お弁当のお申し込みをお勧めいたします。

〈大会参加費等〉

10月4日(木)までに払い込みの場合

参加者	大会参加費	懇親会費(10/13土)	弁当代		資料の追加
			(10/13土)	(10/14日)	
正会員・名誉会員	¥5,000	¥5,000	¥1,000	¥1,000	¥2,000 (1部)
正会員(大学院生)	¥2,500				
賛助会員(1~3人)	無料				
賛助会員(4人目~)	¥5,000				
非会員(一般)	¥7,500				
非会員(学部生・会員家族)	無料				

10月5日(金)以降に払い込みの場合および当日受付

参加者	大会参加費	懇親会費(10/13土)	資料の追加
正会員・名誉会員	¥7,500	¥5,000	¥2,000 (1部)
正会員(大学院生)	¥3,500		
賛助会員(1~3人)	無料		
賛助会員(4人目~)	¥7,500		
非会員(一般)	¥7,500		
非会員(学部生・会員家族)	無料		

※ 大学院生(博士前期課程、修士課程、博士後期課程、社会人大学院生を含む)の正会員は、参加費が割引になります。学生証の提示が条件となりますので、大会当日に必ず持参してください。

※ 賛助会員社にご所属の個人会員には、賛助会員の無料枠の適用はできません。個々に正会員・名誉会員としてお申し込みください。

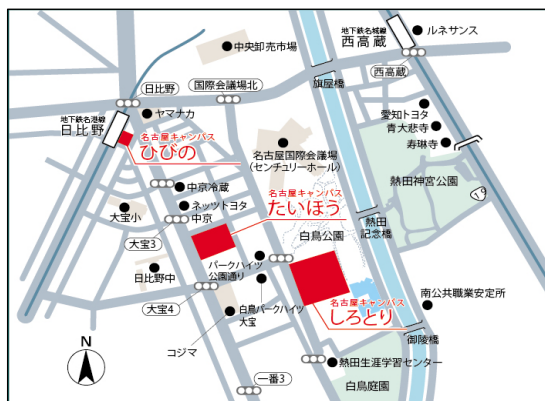
7. 交通アクセス

名古屋市営地下鉄名城線（名港線）「日比野駅」1番出口から徒歩15分（JR金山駅から1駅目）

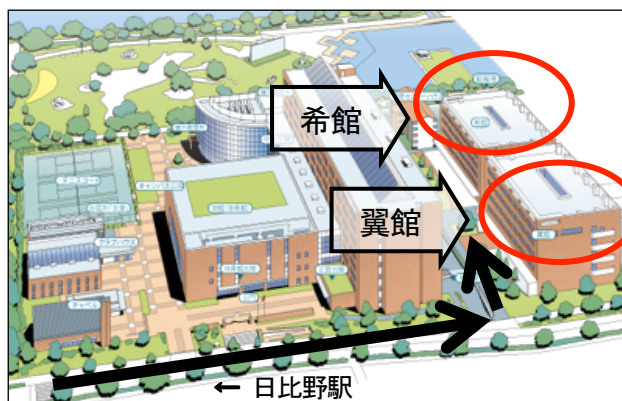
◆地下鉄日比野駅から

1番出口を出てヤマナカ前を右へ200mほど歩き、「国際会議場北」交差点を右折し、名古屋国際会議場を左手に見ながら500m進むと左手に「名古屋キャンパスしろとり」があります。

※ 会場内に駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。



アクセスマップ



名古屋キャンパスしろとり

8. 第49回（2018年度）全国大会運営委員会

運営委員

委員長 岡本 純（名古屋学院大学）

副委員長 安藤真澄（株式会社電通、元南山大学）

運営委員 上岡和弘（大同大学）、村松幸廣（愛知大学）、庫元正博（金城学院大学）

実行委員 安藤りか（名古屋学院大学）、伊藤万知子（愛知産業大学）、岩出和也（名古屋学院大学）、岡田一範（高田短期大学）、加藤里美（愛知工業大学）、清水 真（中部大学）、杉浦礼子（名古屋学院大学）、松本義宏（名古屋外国語大学）、山川雅哲（元椋山女学園大学）、脇田弘久（愛知学院大学）

事務局

名古屋学院大学 商学部 岡本純研究室内

住所：〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号

電話：052-678-4080（名古屋キャンパス代表） FAX：052-682-6811

jaa2018nagoyagakuin@gmail.com

- ・ 大会に関するお問い合わせは大会運営委員会事務局宛にお願いいたします。
- ・ 研究室を不在にすることが多いため、できる限りメールで頂ければ幸いです。